

のぼりべつ 広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

12月18日(土)、富岸小学校「おやじの会」によるもちつき会が同校体育館で開催され、児童や父母ら約130人が参加しました。

昔ながらのきねとうすを使い、子どもたちはお父さんの手ほどきを受けながら大奮闘。つきあがったもちも、きな粉や雑煮などにして、一足早い正月気分を楽しんでいました。



特集

前略 1998年の私

1998 No.567

1/1.15



登別市議会議長
山本茂治

あけましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動につきまして、深いご理解と格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、景気回復の声を聞かないまま、円安、株安が続き、また銀行や証券会社の相次ぐ経営破綻によって金融不安を招き、日本経済は景気後退の局面に陥り、市民生活の先行きにも不透明な年でありました。

当市においても、その影響を受け、さらに厳しい財政状況が続くことが予想されます。

しかし、このような状況の中にあって、快適な市民生活を営むため、新ごみ処理施設建設事業の着手や民間によるデイ・サービス機能を付設した特別養護老人ホームの増設などをはじめ、市民ニーズに対応した諸施策が推進されたところです。

議会といたしましても、議会活動について市民のみなさまによく理解していただくため、常任委員会が出向いての市民団体とひざを交えたざっくばらんな意見交換会、議員自ら編集する議会だよりの発行などを行い議会活動の活性化を図ってまいりました。

今年は、地方自治法施行50周年を記念して、2月、女性による一日議員・議会を開催いたしますので、議会運営の実際を経験していただくことにより、男女共同参画社会づくりの進展につながることをなればと考えます。

今後、高齢・少子化、国際化、高度情報化などがさらに進展する21世紀社会を迎えるに当たり、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる夢と希望の持てる、ふるさと『登別』をつくるため、議会は、議決機関としての権能を十分発揮し、議員27名が丸となって市民のみなさまの付託に全力をあげてこたえてまいる所存でありますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

この一年が、市民のみなさまにとってご健勝とご繁栄の年でありますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長
上野晃

新年あけましておめでとうございます。市民のみなさまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、当市の発展と市民福祉の向上のためご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、長引く景気低迷の中、都市銀行や大手証券会社の相次ぐ経営破綻により生じた金融システムの不安が、さらに景気のマイナス材料になるなど極めて厳しい経済環境を強いられた年でした。

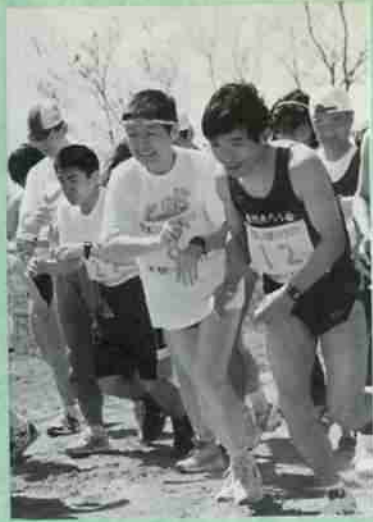
当市においても基幹産業の観光が観光客の入り込み数減少やテーマパークの苦戦あるいは観光地間の競争激化による価格破壊などにより依然厳しい状況が続いています。

このような中、当市においては、札幌のYOSA KOIソーラン祭りでの『のほりべつ舞・舞・舞』のみなさんが熱気あふれるパフォーマンスを展開されたこと、男女共同参画社会づくりに向けて女性のみなさん自らが活動を始めようと『登別市男女共同参画懇話会』が結成されたこと、また、登別青年会議所と登別商工会議所青年部、登別青年会のみなさんが若い力を結集してまちづくりのための新たなネットワークづくりを始めたこと、さらには、市内の企業のみなさんが連携して登別の技術、製品、物産などを一堂に会し新たなビジネスチャンスづくりを目指して『産業フェア』に取り組みされたことなど、厳しい環境の中、地道で力強い市民活動が展開されたことに感謝を申し上げたいと存じます。

今年は、懸案であるごみ処理施設の本格的な建設が始まります。昨今の厳しい財政状況の中で、本事業を遂行していくことは決して平坦なものではないと認識しておりますが、全力を尽くしてまいりたいと考えています。

さらに私は、力強い産業経済活動の展開や快適な都市基盤の整備の一層の充実はもとより、災害に強いまちづくり、男女共同参画社会づくり、国際化、高度情報化への対応など、郷土『のほりべつ』をより確かなものとして次代に引き継ぐとともに21世紀への発展軌道に乗せるよう努めていく所存です。市民のみなさんのご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、市民のみなさまのご健勝とご多幸をお祈りして新年のごあいさつといたします。



前略 1998年の私

毎年、正月を迎えると、ある言葉を思い出します。

『一日の計はあした晨にあり、一年の計は元旦にあり』。一日の計画は一日の初めである朝に立て、一年の計画は一年の初めである元日の朝に立てるべきで、物事には周到な準備と用意が必要ということを説いたことわざです。

今号では、仕事や世相、家族、趣味、市政、1998年を迎える自分への激励などを『前略 1998年の私』と題して募集し、寄せられた『手紙』を紹介します。

『手紙』には、1997年を振り返って、楽しかったことや悲しかったこと、うれしかったこと、つらかったこと、1998年にぜひしたいこと、抱負、計画など、さまざまな『計』が立てられています。

みなさんは、今年、どんな『計』を立てましたか。

家族とは

私は、この2、3年前から何回も手術と入院を繰り返し、今、ようやく元気になる、食事も自分でつくって食べられるようになりました。

元気になるまでには息子やお嫁さんたちにいろいろお世話になり、何回も入院するたび、手術するたびに、付き添ってもらって本当に大変だったと思います。

そして、自分が入院しているときにつくづく思ったことは、たとえお金がなくても子どもがいて良かったと感じたことです。

あの病院で、何も食べられなかったことがうのように今は何でも食べられ、元気で頑張っています。

今年は、一人でバスや電車に乗って歩けるようにしたいと思います。

普段、何気なく暮らしている親と子。しかし、時代は変わっても、病気になるっていろいろ話したり面倒をみてもらったとき、初めて家族や親と子のきずなを再確認するのではないのでしょうか。

そして、これからの高齢化社会を元気で生きようと思います。

(新川町・主婦 佐藤愉喜子)

父の背中の思い

私が6歳のときでした。母の用事を終えての帰り道、近道になっているかんがい溝のあせ道を通りました。

途中で、突然、かんがい溝の向かいの壁を蛇が降りてくるではありませんか。これは大変と夢中で駆け出しましたが、足を滑らせかんがい溝に落ちてしまい、驚きと恐怖で泣き出したのを覚えています。水かき足首くらいでしたが動くことができませんでした。

もがいているところへ、心配して来てくれた父に助けられ、泣きながら父の背中にしがみついたことを記憶しています。その時の、父の背中のぬくもりと、恐怖が消え安堵したことが、今も鮮明によみがえってきます。

その父も92歳で別世界の人になりました。また一つ、父の年齢に近づいた今年も、健康の保持に努めつつ、温かい社会づくりの一員として励んでいきたいと思っています。

(新川町・無職 高澤哲三)

とら 寅年の今年から

年男で、しかも今年は還暦を迎え、高齢者の仲間入りをする。

一昨年、はまりこんで夢中になってしまったパークゴルフ。

昨年は女房と回った15コース約40ラウンドも思うようにスコアが伸びず

「楽しんでやればいいんだ」と負け惜しみを言いつつ悔しいだけを残した。

今年も、今まで行ったことのないコースと岡志別の森運動公園に新設されるコースを楽しみにしよう。

60歳の手習いじやないが体力維持と精神的な若さを保つためにも頑張りたい。それと、軟式野球審判員も21年目に

将来は ワールドカップに出場



若山町・富岸小学校6年
下 國 健 人

ぼくは、サッカーチーム『富岸ジュニアキッカーズ』の主将をしています。今年、一番印象に残った大会は、ライオンズ杯でした。決勝戦では、手ごわい驚きのチームを1対0の接戦で破り、優勝することができま

した。ぼくは、『富岸ジュニアキッカーズ』のほかに選抜チーム『室蘭FC』にも入っています。夏休みに行われた全道大会で優勝し、念願の東京読売ランドでの全国大会に出場することができました。また、その後開催された札幌でのUHB杯でも『札幌FC』との同点優勝でしたが、二度目の全道優勝を果たすことができました。

いよいよ今年は中学生です。中学生になっても、ずっとサッカーを続けていこうと思っています。将来、日本代表としてワールドカップで活躍し、優勝することがぼくの夢です。

なり技術的・体力的には向上は目指せないが、裏方に徹することも一つのボランティア活動と割り切る。

また、縁があつて応援している登別中学校野球部が優勝を達成するまで応援したい。

たとえ、子どもたちが嫌がっても声援を惜しまないつもりだ。

60歳になって今までに経験したことはないものに挑戦もしたいが、二度目の青春到来のつもりで一ツ一ツクリアしていきたい。

「寅年」だもの。
(新生町・市嘱託職員 渡辺浩一)

商工会議所青年部会長 として頑張ります

「無限の創造！最大の行動力！新たな挑戦！」をスローガンに、昨年9

月4日・5日、商工会議所青年部北海道ブロック大会を大成功のうちに終えることができました。

この大会は、全道・全国から300人余りの青年がこの登別に集い、青年経済人としての企業家精神を向上させるための分科会や情報交換、また、市民も参加できる記念講演（北野大さん）など、もりだくさんの大会でした。

先日、この大会の親大会である全国大会が徳島県徳島市で開催され「登別の大会は、地域性を出し趣向を凝らして大変良かった」「市民の人たちが一緒に参加できる大会は初めてだったけどいいもんだなあ」など、大好評で胸を張って帰ってきました。

実は、この大会を成功させるために、40人の青年部会員が1年も前から毎日、毎晩のように会議を開き、登別にしかできない大会をと試行錯誤を繰り返

剣道を通して

1997年は、私にとって最高の年でした。

夢だった全道大会に出場し「とにかく勝つぞ」という強気の決意で臨んだ結果、思ってもいなかった全国大会へこまを進めることができたからです。

全国大会は、想像以上にレベルが高く、一回戦で敗退してしまい悔しい思いもしましたが、多くのことを学ぶことができました。

今年は、高校へ進学する年。

高校でも剣道は続けていきますが、今まで試合で流した悔し涙や勝ったときの喜びを忘れず、全国大会で知った自分の技の出し方の良い点を伸ばし、再認識した礼儀・気合いを大切に、剣の道をさらに極めていこうと思っています。

応援してくれるみんなの「頑張れ」という期待にこたえられるよう稽古を積み、今年はさらに良い年だったと言えるような結果を残していきたいです。



登別町・登別中学校3年
尾崎あゆみ

平成9年9月に病気で父と死別し、初めて父親の存在を大きく感じるようになり、自分の中に自立心と責任感が生まれたような気がします。人は、親しい人との別れと多くの出会いによって成長します。今年も、一年を通してたくさんの人と出会い、自分の力にしていきたいと思っています。

たくさんの人との 出合いを力に!

返し、この大会を実施したのです。私たち商工会議所青年部は、この大会の開催で積極果敢にチャレンジできる行動力と大きな団結力という財産を得ることができました。今後は、この大きな財産を豊かで住み良いまちづくりに活用していきたいと思っています。

(柏木町・自営業 羽沢純男)

1998年の私へ

私は、現在、登別マリナーパークニクスで、アシカやイルカのショートレーナーをしています。今年4月末に、ペンギン舎のオープンが予定され、新しい仲間たちのために、心機一転、たくさんの方の勉強をしていきたいと思っています。

(登別本町・会社員 阿部健一)

新年の足音を聞きながら、ゆくゆく年へ幸あれと祈り、筆を持ちました。花から緑へ、月さえて紅葉が木枯らしに舞い、雪の季節を迎え、時の流れの早さを痛感しております。忙しい一年でした。「光陰矢の如し」と書きませんが、どんなに忙しくても心のあるときを過ごしたいものです。時間は生きる工夫で、大切な命です。人生は不確かですが、美しい自然の

『げんきかい』へ 参加しませんか?

私は、東京圏に住む登別ゆかりの有志で登別を盛り上げていこうという『東京登別げんきかい』幹事の一人です。

2年ほど前、この会の存在を知り、総会に出席しました。

参加者の顔触れも知らず不安でしたが、旧友や先輩との思わぬ再会があり、参加者のみなさんの温かい人柄に触れられ、この会の存在に誇りさえも感じました。

そしてこの会が、単なる懇談会では

営みの流れは、確かに人の心を和ませてくれます。どんなに、近代化の波が進み、生活が忙しくなっても、自然と遭遇することで心に安らぎを求めたいものです。先日、茶会の掛け物に『歲月一人を待たず』とあり、ハッとしたことを覚えていました。この言葉を教訓に、時間に追われ時間に使われることなく、時間は自分でつくり、大切に過ごしてください。

(中央町・主婦 前川和子)

始まりは卒業式から

なく、故郷とその出身者への応援団であることを知り、幹事に加わりました。残念ながら、会員のほとんどは40代以上です。もっと、20代や30代の方が参加してくれればと思っています。登別に縁があれば、どなたでも入会できます。正月休暇で帰郷しているあなた。今年、東京へ出てくる君たち。たまには、同郷の先輩に胸中のもろもろをおつづけてみるのもいいものですよ。一緒に酒を飲みたいだけかも。 (千葉県佐倉市・会社員 石本弘幸)

もうすぐ来る卒業シーズン。私は、過去三度の卒業式を経験した。その涙の式の真つ最中、場違いな喜びを胸に秘めていたのは私くらいなものだろう。私にとって卒業式は、いつの時代も『絶好のチャンスの到来』だった。自分の知らない仲間や友人。そこで生まれる価値観と考え方。そして広い視野。それらは望んだからといって手に入るものではないのに、卒業式というやつはそれをたやすく持つてきてくれる。楽しくならないわけがない。

そんなすてきな卒業式から今度は『卒業』しなければならぬわけだ。卒業式には、新しい世界への入り方を三度も教えてもらった。

だから私は、たくさんの方の代わりに来年も笑顔の私を約束したい。

(桜木町・日本工学院北海道専門学校 2年 我妻有里子)

地域に愛される店と 商店街を目指して

ついに新しい店舗ができた。
富士橋大通り商店街改造計画が持ち上がってから、すでに15年余りが経過し、待ちに待った完成である。

地域に根差した商店街や店づくりを論議し、「まちづくりルール」をつくった。それに基づき、平成9年度までに14店舗、10年度には4店舗、それ以降も続々と改造は続く。道路と橋は、平成10年度完成予定なので、商店街内は当分工事で騒がしい。

しかし、地域の方が安心して楽しくショッピングできる街になるのだから工事による多少の売上減は覚悟しなれば。将来の希望のためにも。

当店も今後2年間は、ご多分にもれず工事の影響を受けるが、みなさんの「いい店だね」の言葉が励みになる。少々の困難なにするものぞ。虎は一千里を走るといわれるが、そこまでいなくても今年は大飛躍するぞ。商店街のみんなで頑張るぞ。地域に愛される店と商店街をつくるために。

(富士町・自営業 楠本賢一)

目指すはオリンピックだ!

高校時代の水泳生活が、もう終わろうとしています。

インターハイには、3年間出場し、国体にも2回出場しています。北海道

のリレーチームでは、8位に入賞し、北海道の得点に貢献することができました。とても忘れられない思い出の一つです。

しかし、ほくはこれだけでは満足していません。

これからも、まだやるべきことが残っている、大学にいったも水泳を続け、もっと強い選手になりたいと思っています。

これからが、ほくの本当の意味での水泳生活の始まりだと思っています。

やるからには、自分の最終目標「オリンピック」に出るように頑張りたいと思います。悔いの残らないように、自分自身の持っているものをすべて出しきり、精いっぱい努力し続けていこうと思います。

(新生町・登別南高校3年 中山明久)

世界に誇れる登別温泉を

去年を振り返って、久し振りに良い一年を過ごすことができたように思う。

なぜなら、ここ何年か、一年の前半までは上り調子で、秋を過ぎるとスローダウンしてしまう傾向にあったからだ。

何よりも私にとっての最大の出来事は、登別に就職が決定したことだ。10年来、ずっと思い続けてきたことがなつて大変うれしく思う。

登別のみなさんは、とても人当たりが良く、気軽に声を掛けていただき、常に親切だ。たやすくできることではないはずだ。日々の生活の積み重ねが

自然の発見者に 育ってほしい



新川町・主婦の伴野美江

昨年のヨシキリの会の仕事始めは、2月の「幌別川の探鳥会」でした。なんと、前日からの猛吹雪で大荒れの天気となり、当日はドカ雪のお土産付き。会員一同、スコップ持参で1時間かかって雪かきに励み、やっと探鳥会を開きました。

「夏のせせらぎスクール」も、またまた雨にたたられ2回も中止。今年については年なんだとしょんぼりしていたら、思いもかけずコココーラ環境財団より環境教育賞をいただき、直ちに元気回復。また、市と道の補助金とコーラを受賞金を使って、5年目で念願の「幌別川生きものマップ」を1万部作成することができました。忙しかったけれど、忘れられない年でした。

今年の夢は、雑木林をつくって子どもたちやいろいろな方と、鳥や花や虫やいろいろな生き物と触れ合う下地づくりを始められたらすてきだと思います。また、四季を通した「子ども自然教室」を開き、野遊びをしながら子どもたちが不思議で楽しい自然の発見者に育ってくれることを夢に描いています。

自然と表れるのであろう。

そんなみなさんの心意気に触れ、私も毎日新鮮な気持ちを持ち続けることができる。みなさんの素晴らしさとこころをより多く吸収し、自分自身の糧としていきたい。

最後に、国内はもとより、世界各国から大勢のお客さまが登別温泉に来てくださることを心から願う。

自然の恩恵に慈しみ、感謝感激の気持ちをお忘れずに、世界に誇ることできる登別温泉を築きあげる人になりたい。

(登別温泉町 Ando・J)

自分史をつづつて

昨年は、ワープロとの一年でした。

「自分史」をつづつて、すべて手づくりの一冊の本にしようと思ったからです。

父の生まれた明治から書き起こし、平成の時代にくるまで数年はかかり、途中でワープロの故障というハプニングもありましたが、毎日が楽しく、今は満足感でいっぱいです。

親、兄弟が生まれたとき、死んだときの世相はどうであったかを、追いつめていくことは実に楽しいことです。そのために多くの本も買って読みました。

私が克明につづりたかったのは、あの狂気に近い「太平洋戦争」でした。学校へ行けば殴られ、冬の学徒動員、防空ずきん、いった大豆の携帯食、でんぶんかすの団子、大型の家畜の食料であるデントコーン、くる日もくる日もカボチャとジャガイモの塩煮で体が黄だんのように黄色くなったことなど思い出は尽きません。

敗戦から53年目の夏が、またやって

1997年の思い出

1997年一番の思い出は、7月にデンマークからの研修生が1カ月、10月にもデンマークのオールボー大学合唱団の団員が6日間、わが家にホームステイしたことです。

彼女たちが滞在中、いつもは10分足らずで慌ただしく済ませていた朝食も、和英と英和の2冊の辞典をお互い指差したりしながら30分ぐらいかけ、時間を気にしなくてもすむ夕食はジェスチャーたっぷりに話してくれる彼女たちの話、時のたつのも忘れていました。

1時間以上も会話を楽しみながらの食事は、質素な食事でもいつもよりおいしく感じる楽しいひとときでした。

彼女たちが来てくれたことで、たくさんのお話を教えてもらい、楽しい思い出をつくってもらったことに感謝しています。「語学ができたならもっといろいろなことを伝えられたのに」と思うと残念です。

今年は、去年より少しでも多くの言葉を聞き取れるように勉強していきたいと思っています。



若草町・主婦 桜井 富子

ボランティアという言葉

人間、20代・30代ともなると忙しくなるし人間関係も限られてくる。でも、ボランティア活動をすると、いろいろな年代の方との交流があります。ボランティア活動は特別なことをするというわけではなく、話し相手・友達としてでもいいんです。無理をせず、楽しく接することが大切です。人に優しくすると、自分にも優しくなれます。人の笑顔を自分の笑顔にすることが出来ます。

きます。

欲しい物がいつでも手に入る世の中が本当の『平和』なのでしょう。

『平和』という言葉の意味を、そして『平和な時代』と呼ばれるこの時代を、もう一度考えてみる必要があります。

(片倉町・無職 藤原正敏)

もつと20代・30代の方が、ボランティアに興味を持って活動してほしいと思います。

ボランティアという奉仕ではなく、新しい自分を見つけるために。

(若草町・会社員 笹谷俊也)

素直な気持ちで新しい知識を

登別地方高等職業訓練校のパソコン教室で、まだ先生が説明している途中なのに勝手にキーをたたき始めましたね。きつと、ほかの人たちより早く完成させて優越感に浸りたかったんですよ。

ところが、説明をきちんと聞いた人たちが、あつという間に私を追い抜き完成させてしまったので慌てましたね。でも、指導者の先生は「話を聞いていないから駄目なんだ！」なんて一言

も言わず、繰り返し丁寧に教えてくれました。おかげでなんとか追いつくことができて良かったですね。

パソコンの性能だけでなく、世の中はどんどん進歩しています。私も素直な気持ちで、今年も新しい知識を得ようではありませんか。

(美園町・中学校非常勤講師 西巻弘光)

1998年も多くの記事と写真で楽しませて!

『広報のほりべつ』を、毎月楽しみにしている一人の主婦。

いや、孫と娘夫婦と暮らしているので、おばあちゃんなのですが、孫たちからは「ママ」と呼ばれている57歳のまだ若いと思っている自分です。

昨年の私は、ここ数年味わったことのないぐらゐ頑張った良き年を過ごせたと感じて、こうしてペンを持ちお手紙しました。

昨年の春から、消費者協会に入会し、その中の紙すきをするグループで、月に一度、はがきや色紙などをつくり楽しんでいきます。

初夏を迎えるころには、幼いころからやってみたかった書道を習い始め、夏には流行のカラオケクラブにも入り「本当に現実かな」と思うほどうれし毎日を通していきます。

実は、私は5年前から目まい、耳鳴り、難聴の病気になる、一人で歩くことが不安で困っていましたが、少しずつ好きなことをやり始めているうちにだいぶん良くなり、このままだけ

来年は「やる気」「負けん気」「元氣」で頑張りたいと思っています。

『広報のほりべつ』をつくっているみなさん。昨年もうもありがとうございました。今年もたくさんの方の記事や写真などを載せて楽しませてください。

(富士町・主婦 山田満智子)

量より質!それが登別温泉の誇り

わが登別市が、全国に誇れる登別温泉の現状について環境庁の調査資料から比べてみると、温泉の源泉総数の日本一は別府温泉の2千848で登別温泉は36。総湧出量も別府が一番で、1分間に9万4千841リットルです。

宿泊施設数と収容定員数は共に箱根温泉郷が日本一の667軒、4万4千582人で、登別温泉は19軒、調査当時6千691人です。

まさかと驚くほどちがいは温泉地なので

しかし、平成8年の入湯人員数では全国一が箱根で470万人、2位の別府が381万人、草津が173万人に対して、この小さな登別温泉には全国から158万人もの方が訪れています。決して負けてはいません。量より質なのです。温泉の質、温泉地としての質、それが登別温泉の誇りなのです。

(登別東町・団体職員 小澤隆信)

たくさんの方の投稿ありがとうございます。掲載順は不同で、敬称は略させていただきますのでご了承ください。

前略 1998年の私

西

この写真展は、毎年、胆振管内の市町村が持ち回りで開催しているもので、今年、登別市文化協会写真部が中心となって開催しました。会場には、胆振管内11市町村から寄せ

られたアマチュアカメラマンによるカラーやモノクロ写真、約10点の力作を展示。作品のなかには昨年話題となった『ヘール・ポップすい星』や子どものかわらしい表情を写したなども見事な作品ばかり。登別市文化協会写真部（会員11人）からは、旅先での風景や景勝地を写した作品が展示され、なかには夫婦で出品した方もいました。同協会写真部長の常盤静夫さんは「当写真部では2カ月に1回



東

一瞬の中に四季の情感を

11月21日(金)から24日(用)にかけて、『第21回道民芸術祭・第28回胆振芸術祭写真展』（胆振文化団体協議会、登別市文化協会共催）が市民会館で行われました。

号がつけられ、教育委員会や室蘭警察署などが場所と番号を登録し、児童が緊急に逃げ込んだときに番号を通報すると、警察署員が即、その『家』に出向くというもの。

地域一丸となって子どもを守ろう

『子ども110番 スタディちゃんの家』は、設置場所ごとに番

12月8日(用)には、第1号の木村三郎さん(美園町3丁目)宅前に、鷺別地区子どもを守る会や教育委員会、室蘭警察署、若草小学校、同校PTA、室蘭登別防犯協会、美園・若草地区連合町内会会員らが集まり、スタディちゃんの絵が書かれた看板を設置しました。



の割合で例会を開催し、会員が作品を持ち寄って批評しあっています。これからも写真撮影の研さんに励みます」と話していました。

掘り出し物、見つけちゃった

12月7日(日)、清掃工場（幸町2丁目4）横のリサイクルハウスで、市民から寄せられたリサイクル品を無料で提供する『リサイクルハウスの公開』が行われました。

『リサイクルハウスの公開』は、毎年7月と12月の年2回行われ、この日は、希望のリサイクル品を求める約300人の市民が訪れました。

ハウス内に展示されたリサイクル品は、スキーやスケート、たんす、電気ストーブ、学習机、ソファなど全部で165点。中でも、希望者が多いリサイクル品は抽選会が行われ、ベッド、テレビ、たんすなどに人気が集まりました。



来馬岳（標高1,040m）の『国設サンライバスキー場』のロッジ内で12月12日(金)、シーズン中の無事故を願う『安全祈願祭』がスキー場関係者により行われました。

同スキー場は、初級者から上級者まで楽しむことができ、リフトを乗り継いで最高点まで行くと倶多楽湖や太平洋を眼下に臨むことができます。

同スキー場では、昨シーズン、約68万人のスキーヤーやスノーボーダーが訪れました。

最近では、修学旅行にスキー学習を取り入れる学校が増え、今シーズンは道内外の高校7校の生徒を受け入れる予定です。

▶問い合わせ 国設サンライバスキー場 (☎84)2872)

今年もスキーはサンライバ

祭

食

12月13日(土)、幌別小学校、幌別中学校の児童、生徒、PTA、教職員らが千歳町のふれあい農園で収穫したコメ「さらら39」を試食する収穫祭が幌別中学校で行われました。

この収穫祭は、幌別中学校区週5日制行事の一つとして行われたもので、この日は児童・生徒や地域の方など約150人が参加し、新米を炊いたり、ジャガイモの



皮をむいたりなど、カレー作りに挑戦。

試食会では、できたてのカレーライスを食べ、「おいしーい。もう一杯食べようかな」とお代わりす

今日のカレーは『ひと味』違うね

る子も見られました。

幌別東小学校4年の橋田佳美さんは「店で売ってるのより今日のおコメの方がおいしいです。みんなでつくったおコメだから特別おいしいのかな?」と自分たちが育てたコメの出来に満足そうでした。

幌別中学校区週5日制運営委員会会長の畑山功一さんは「今年で6回目の収穫ですが、今年度は過去最高の315%の収穫でした。コメ作りは、稲の成長を観察できるので子どもたちには良い体験になります」と話してくれました。

ぼくのたこ、うまくなるかな

11月22日(土)、市民会館で「第1回登別市親子文化祭」が開催されました。

この文化祭は、(財)登別市文化・スポーツ振興財団の新企画として今回初めて行われたもので、市民会館の全室を使って、親子で楽しめる9つの催しが開かれました。

1階の大会議室などでは「おもしろ工作コーナー」と題し、郷土資料館ボランティア団体「SLG」の指導による「たこ

作り教室」と「はた織り教室」が行われ、美園町の熊谷太郎さんの指導による「紙ねんど教室」では、アニメのキャラクターなどがつく

られ子どもたちの人気を集めていました。

また、調理室ではオリジナルクッキーをつくる「おもしろクッキー作りコーナー」が開催され、4教室は161人の親子でにぎわいました。

幌別町の東松剛さんは「普段は仕事で忙しく、子どもと遊ぶ機会



とうまつたけの 東松剛さん・悟くん

が少ないので、一日、子どもと一緒に過ごそうと思ひ参加しました。今日は子ども孝行の日です」と悟くん(5歳)とたこ作りに参加し、父と子の楽しいひとときを過ごしていました。

正月は自作のしめ飾りで

12月13日(土)、郷土資料館・文化伝承館で『正月用しめ飾り作り』が行われました。

郷土資料館での『しめ飾り作り』は、年末恒例の事業でボランティア団体「SLG」の8名と職員らが参加者の指導に当たりました。

この日は、幼児からお年寄りまで約80人が参加し、稲わらで縄をない、輪にして水引や和紙で作った扇を付け、約2時間で作り上げました。

昨年に引き続き、友達2名を誘って参加した西陵中学校1年の中田悠樹くんは「去年は家の玄関に飾りました。今年は自宅だけでなく近所の方も作ってあげたい」と張り切って作っていました。



12月13日(土)、登別市社会福祉協議会主催による『第29回幌別地区チャリティ市民芸芸大会』が、市民会館で開催されました。

この市民芸芸大会には、町内会や老人クラブ、企業、各種団体などから選ばれた多彩な芸の達人が、舞踊、楽器演奏、歌謡曲、クラシックバレエ、芝オケなどを披露し、会場に詰め掛けた約700人の市民から、たくさんの拍手が送られました。

中でも、13年連続の最多出場を誇る『登別ユーモア芝オケフェニックス』による愉快的芝オケは、会場の笑いを誘っていました。また、小・中学生によるクラシックバレエのかわいらしい舞いには、たくさんの花束が贈られました。

『一芸』披露いたします

いきいき ボランティア

『自分のためのボランティアを！』



幌別町の濱田一夫さんは、板金業を営む傍ら、ボランティア団体「登別手話の会」の代表を務め、聴力に障害をもつ方へ手話通訳をするボランティア活動を行っています。

25年ほど前、市内の太鼓チームの活動に携わっていた濱田さん。当時、室蘭の太鼓チームで耳の不自由な方が太鼓をたたく姿に胸を打たれ、その方と一度話をしたいと思ったものの、手話を知らなかった濱田さんは、ほとんど話すことができなかつたそうです。

「自分の思いを伝えることができなかった」という悲しい思いを二度としないために、濱田さんは本格的に手話を習い始め、そのひたむきな思いは、今も濱田さんの活動の原動力になっています。

現在、濱田さんは、登別市社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」や「ボランティア体験月間」での手話通訳や手話の講習会での講

師、耳の不自由な方の通院時に医師の言葉を手話で通訳するなど、仕事の合間をぬいながら幅広い活動を続けています。

「手話は、耳の不自由な方と会話するための大切な手段の一つです。最近、手話を覚えたいという方が増えてきましたが、手話の技術を覚えるだけではなく、まずボランティアの心を学んでほしいですね。私は「ボランティア」を「人とのかわり」と考えています。ボランティア活動を通して、いろいろな方と知り合い、互いに学び合う。それはかけがえのない財産ですよ。ボランティアに携わる方には「やってあげる」という考え方を持つてほしくありません。ボランティアは特別なことではなく、自分の意思で行うものです。

車いすで道路を渡ろうとしている人にひと声をかける勇気。これも立派なボランティアなんです。これから手話をやってみようと考えている方は、まず「ボランティアとは何か」を真剣に考えてほしい。そして、積極的にいろいろな体験をして、新しい自分を見つけてほしいですね」と濱田さんは、ボランティアへの熱い思いを話してくれました。

登別手話の会は、会員を募集しています。詳しくは登別市社会福祉協議会ボランティアセンター（☎2080）へ問い合わせください。

「市長室フリータイム」が開催されました

11月27日（木）、鶴別公民館で「市長室フリータイム」が開催されました。「市長室フリータイム」は、市民と市長が、まちづくりなどについて自由に語り合える機会を広げるため開催しています。

今年度2回目の市長室フリータイムには、3組（5人）が訪れ、ふるさと自然情報局のメンバーからは「貴重な植物の生息が確認された湿原の保護」について、また、新生町の方からは「岡志別の森運動公園パークゴルフ場の無料化と照明設備の設置」、千歳町の方からは「障害をもつ方の住宅対策」についての話があり、熱心な意見交換が行われました。今回の「市長室フリータイム」は、平成10年2月に婦人センター（登別東町3丁目6）で開催する予定です。

域で活動している各種団体と市長が、ひざを交えてまちづくりなどについて懇談するもので、今回で7回目。

この日は「自然を生かしたまちづくり」をテーマに、鉾山地区の整備方針や来馬岳登山道の延長などについて意見交換が行われ、鉾山地区の整備について山岳会のメンバーから「子どもが自主的に行動できるような自然のままのキャンプ場の設置」「自然に親しめるようなハイキングコースの設置」「自然を破壊しないように林道への車両の通行を制限すべき」などの意見が出されました。市は、これらの意見を参考に、今後策定する鉾山地区整備計画に反映させていく考えです。

▼問い合わせ 企画広報室
（☎1122）

また、12月1日（月）には、市役所庁舎で「ふれあい懇談会」が開かれ、市長以下幹部職員と登別山岳会（河村勝会長）メンバー14人が、ざっくばらんに意見交換を行いました。昨年からの新たに始まったこの「ふれあい懇談会」は、地



▲登別山岳会との「ふれあい懇談会」

仲間たち

日本舞踊花柳流燐紫衛会
登別支部

代表 相馬一子さん

(☎0662003)

『華麗な舞をいつまでも』

「踊りが好きでたまらない人が集まり、登別支部を結成しました。結成当初は、日本舞踊をほとんど踊ったことのない人ばかりでしたが、みんなで励まし合いながら練習を続けてきました」と語る相馬一子さん。



花柳流燐紫衛会登別支部は、昭和63年に結成され、会員は50代から70代までの23人。登別公民館と若草つどいセンターで、古典(長唄など)や演歌、民謡などを取り入れ、毎週1回、熱の入った練習を2、3時間行っています。

「日本舞踊は、一見簡単に見えますが、ただ手足を動かすだけでなく、全身で踊らなければならないのです。日ごろから、美しくそして華やかに踊ることを心掛けていますが、まずは気持ちです。心がこもっていないければ、美しく踊ることはできません。心と体が一体となったときに、はじめて良い踊りができるのです」と話す相馬さん。普段の練習の成果を発表するため、毎年、チャリティ市民演芸大会や燐紫衛会主催の「舞踊の集い」などに参加



し、年齢を感じさせないその踊りに、多くの拍手が送られるそうです。

「仲間とのふれあいを大切に、体の続く限りいつまでも楽しく踊り続けていきたいですね。できればもっと若い方も参加してほしいですね」と話す相馬さんには若さが満ちあふれていました。入会を希望する方は相馬さんまでどうぞ。

からび

慶事や弔事に

『鶴・亀・菊の和菓子』

〔有御菓子司かわむら〕

(登別町)

「和菓子は、日本の文化。昨今、和菓子は若い世代にあまり人気がないと聞きますが、生クリームなどの甘さとまったく違う『あん』独特の甘みを味わってほしいですね。和菓子の魅力はなんとと言っても、その美しさですよ」と語る河村信義社長。

15歳のときから菓子職人として修行を積み、独立して登別町に店を構えたのは昭和35年。以来、地元とともに歩みながら和菓子一筋



に打ち込んできた河村社長。

「私の世代の職人は、技術は盗めと言われたものです。この『菊』の和菓子もそうです。あんを練ることから始まって、部分ごとに色付けをして、はさみで切り込みを入れて花びらをつくるんですよ。すべて見よう見まねで体得しました」と笑う河村社長。お菓子とは

思えない精緻な細工がされた『菊』の和菓子には、河村社長の職人としてのこだわりが、花びらの一枚一枚にまで込められ、和菓子特有の風合いを醸し出しています。

昔は、引き出物として和菓子が使われることも多かったんですが、今では少なくなりましたね。和菓子職人も若い世代が減ってきています。61歳になりましたが、和菓子の伝統を守るためにも、あと20年は現役で頑張りますよ」と語る河村社長。

河村社長がつくる慶事・弔事の和菓子には『鶴・亀・松・竹・梅』や『菊』などがあり、数量や色などを注文することができます。詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ (有御菓子司かわむら) (登別町2-22-6 ☎7951)

あすなろ

みやこし 宮腰さおりさん

第一滝本館勤務

(19歳)



「お客さまの『ありがとう』や『また来ます』の言葉が一番うれしいですね」と話す宮腰さん。

生まれ育った故郷苫小牧を離れ、2年目を迎えた宮腰さんの担当は客室係。宿泊客の到着出迎えから始まる客室係の仕事は、荷物運びから宴会の用意までさまざまです。「就職して間もないころは、寂しくて毎晩のように実家に電話していました。今は、多くの先輩や同僚に囲まれ、寂しいと思っ

たのではないですね。たまに実家に帰ると母に『客室係はあいさつが大切なんだから、ここで練習してみなさい』と言われるんですが、なかなかうまくできないですね。先輩は、かしこまりすぎない敬語をさりげなく使ってお客さまに接するんですが、私もいつかあんなふうに接客できるようになりたいですね」と話す宮腰さんのすてきな笑顔は、心と体の疲れをいやす第一滝本館のもう一つの効能です。

②エレベーターの設置



障害をもつ方や高齢者が利用しやすい公共施設とするため、市役所庁舎と市民会館にエレベーターを設置します。完成は今年3月を予定しています。(事業費は、市役所庁舎：約8千100万円、市民会館：約5千900万円)

▶問い合わせ

市役所庁舎：総務部施設担当 (☎⑤1184)

市民会館：教育委員会総務課 (☎⑤1100)

①しんた21 機能訓練者用送迎バスの購入

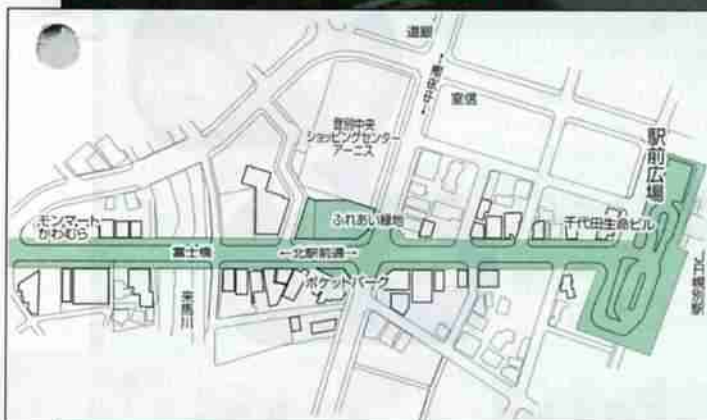


送迎バスは、障害をもつ方や高齢により身体の機能が低下している方が、しんた21で機能訓練を行うときの送迎用として購入しました。また、機能訓練以外でしんた21を利用する方のために毎週木曜日に限り、無料で送迎しています。運行時間などは問い合わせください。(購入費用約640万円)

▶問い合わせ 保健福祉課 (しんた21内☎⑤0100)

市内の事業はここまで進んでいます

④北駅前通り街路整備事業



北駅前通り街路(道道弁景幌別線)整備事業は、JR幌別駅西口から富士橋を経て、モンマートかわむら前付近までの約440mの区間を整備するものです。現在は、用地買収や建物などの移転補償、店舗の改築を行っています。来年度以降は、富士橋の架け替えや道路と駅前広場の整備、仮称『ふれあい緑地』公園整備を行います。全体の事業が終了するのは、平成14年度の予定です。(9年度事業費約10億1千万円)

▶問い合わせ 商店街近代化担当 (☎⑤3132)

③はしご付消防ポンプ自動車の購入



はしご付消防ポンプ自動車は、地上から41mの高さまで『はしご』が伸び、消火や救助活動ができるとともに、河川や海岸付近など離れたところに『はしご』を掛け渡して救助活動をすることができます。はしご付消防ポンプ自動車は、市役所横(幌別小学校側)の消防署車庫に格納しています。この付近での駐車は禁止となっていますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。(購入費用1億7千万円)

▶問い合わせ 消防本部 (☎⑤9611)

市は、私たちのまち『のぼりべつ』が市民のみなさんに愛され、共に暮らす喜びを見いだせるまちにするため、さまざまなまちづくりを進めています。

今号では、市内で行われている主な事業の途中経過を、10月1日号に続きお知らせします。

きらら

『メルヘンの世界へ誘う』

幻想的な輝き

アリス・ステイブスさん

(ステンドグラス工芸家)

◆ 出身はどこですか
 「カナダの東海岸、プリンス・エドワード島のサマーサイドです」

◆ 登別マリンパークニクスに来たきっかけは
 「もともと日本には、興味がありませんでした。以前から『マリンパークニクス』は運営面など管理が行

去年の4月から、登別マリンパークニクスで、着色ガラスをはんだでつなぎあわせ、主にブローチや置物など美しいステンドグラス工芸品の制作・販売をしているステイブスさんに話を聞きました。

き届いているという評判を聞き、招きを受けたので来たんですよ。『マリンパークニクス』という名前もとても気に入っています」

◆ ステンドグラスに興味をもたれたのは
 「カナダにいる私の家族は、芸術家タイプの人ばかりなんです。それに影響されていつのまにかステンドグラスに興味をもってしまっただけでしょうね。でも、この仕事を始める前はカナダのテレビ局で、写真を撮る仕事をしていたこともあります。ステンドグラスの仕事は、カナダにいたときから数

えると今年で18年になります」



「ステンドグラスは、できあがるまでかなりの日数を要し、独創性も要求されます」と話すステイブスさん。休みの日には、一日中、家でステンドグラスの制作の準備をしていることが多いとか。

「マリンパークニクスの北欧ギヤラリーの一角で、ステンドグラス制作の実演をしていますので、ぜひ見に来てください」とステイブスさんは話してくれました。

一度、登別マリンパークニクスでご覧になってみませんか。

▼問い合わせ 登別マリンパークニクス (☎3800)

遊遊 自適

諏訪英雄さん (76歳)

若草町

『キャンバスは永遠の友』

「絵を描くことは幼いころから好きでしたが、本格的に絵の勉強を始めたのは学生時代からでした」と話す諏訪英雄さん。

小・中学校の教諭として忙しい毎日を通しながらかも、絵の勉強を続け、道展や全道展などに常時入選するまでになった諏訪さん。帰宅してから夜遅くまで絵を描き、時には夜が明けてしまいうこともあったとか。

北辰中学校 (室蘭市) 校長を最後に、退職後は漁港を主題にした風景画を描くことが多くなったそうです。

「生まれ故郷には漁港があり、いつも漁港を見つめていました。港には、そこで働く漁師の生活があります。楽しそうに網を上げたり、皆で語り合ったり、また、仲間が荒波にのまれ、帰らぬ人になったときの悲しそうな表情が今でも目に浮かびます。鷺別漁港や登別漁港を描いていると遠い故

郷を思いだすんですよね」と語る諏訪さん。絵を描くほかに、幅広い趣味を持つ諏訪さん。夏は昨年までマラソン大会へ参加していたというジョギングに励み、冬は、61歳のときに1級検定試験に合格した腕前のスキーを楽しんでるそうです。現在は、登別市文化協会会長や登別美術協会会長、また、全道展の会員として活躍する傍ら、美術教室の講師として、市内外4カ所で絵画の指導を行っています。



「絵を描くときは、自分が感じたままに素直に描いてみることですね。そして、自分が一番描きたいものを丁寧に、そのまわりは少し力を抜いて描くのが秘けつです。そうすることによって描きたいものが一層引き立ってきます」と話す諏訪さんの目はとても生き生きとしています。

かると

平成10年度 保育所児童募集

市は、平成10年度の市立保育所の入所児童を募集します。

保育所名	定員	所在地	電話番号
富士保育所	90人	富士町7丁目2-1	☎2557
幌別東保育所	90人	幌別町8丁目17	☎0151
栄町保育所	90人	栄町2丁目6-1	☎9515
鶯別保育所	90人	鶯別町4丁目36-18	☎7254
登別保育所	45人	登別東町1丁目14-5	☎1079
登別温泉保育所	45人	登別温泉町92-1	☎3078
富浦保育所	30人	富浦町1丁目53	☎1140

※入所希望者が定員を超えた場合は、公正な選考により決定します。

▼入所年齢

◎富士・幌別東・栄町・鶯別保育所
生後6カ月以上のお子さん

◎登別・登別温泉・富浦保育所
満3歳以上のお子さん

▼対象家庭

◎母親が日中、仕事（家事以外）をしているため保育できない家庭

◎母親のいない家庭

◎母親が病気・心身に障害がある・



出産前後などで保育できない家庭
◎病人の介護などで保育できない家庭
◎このほかの理由で、家庭内での保育ができない家庭

※富士保育所では、満3歳以上で、心身の発達に心配のあるお子さんの保育を行っています。詳しくは問い合わせてください。

※鶯別保育所では、通常の保育時間を超えた19時までの延長保育を行っています。

▼申込書の配布・受け付け 1月6日（火）から20日（火）までに児童家庭課、各支所、各保育所に備え付けの申込書で申し込みください

▼問い合わせ 児童家庭課
(☎5634)

20歳がスタート！ 『国民年金』

20歳になると、自営業の方はもちろん学生なども国民年金に加入しなければなりません。

国民年金に加入していなければ、老後を迎えたときや、万一の病気やけがのため障害をもったとき、老齢基礎年金や障害基礎年金を受けることができません。

成人の第一歩として、20歳の誕生日を迎えたら必ず国民年金に加入しましょう。

※会社などに勤めていて、厚生年金や共済組合に加入している方は手続きは不要です。

▼問い合わせ 保険年金課
(☎1771)

文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

◎市民ミニバレーボール大会

▼月日 1月25日(日)
▼時間 受付8時30分

▼場所 総合体育館

▼参加料 無料

▼種目 男子の部・女子の部(男女混合チームは男子の部に含む)

▼チーム編成 1チーム6人(補欠2人を含む)

▼試合方法 予選リーグ・決勝トーナメント方式

▼申込方法 1月18日(日)までに総合体育館に備え付けの申込書で、チーム単位で申し込みください

▼問い合わせ 総合体育館
(☎5552)

◎初心者太極拳教室

▼日時 2月17日(火)から3月3日(火)までの毎週火・金曜日10時から12時まで(計5回)

▼場所 市民会館中ホール

▼対象 市内に居住または勤務する方

る方

▼定員 30人(申込順)

▼受講料 無料

▼内容 太極拳の基本姿勢・動作※動きやすい服装で参加ください

▼申し込み・問い合わせ 2月10日(火)までに文化・スポーツ振興財団(☎1116)

◎スポーツ傷害予防講習会

テーピングの技術を学んでみませんか。

▼月日 2月14日(土)

▼時間 13時30分～16時30分

▼場所 総合体育館

▼対象 市内のスポーツ団体指導者、市内に居住または勤務・通学するスポーツ愛好者

▼定員 40人(申込順)

▼受講料 無料

▼申し込み・問い合わせ 2月8日(日)までに総合体育館
(☎5552)

第19回 登別市長杯争奪 新春囲碁大会

～登別棋道連盟～

月日 1月18日(日)
時間 受付10時、開始11時
場所 富士会館
参加料 会員 500円
一般 1,000円
問い合わせ 杉本さん
(富士会館内囲碁道場
☎1253)

ポリオワクチン追加接種 (2回目)のお知らせ

厚生省の調査で、昭和50年から52年に生まれた方のポリオの免疫を保有する割合が、他の年齢層の方に比べて低いことがわかりました。

ポリオの免疫を持っていない方がポリオの発生している国を旅行したときや、極めてまれにポリオワクチンを接種した乳幼児から感染し、発病する可能性があります。

このため、市は、平成9年10月24日と11月5日の2日間、希望者にポリオワクチンの追加接種を行いました。また、体調不良などにより接種できなかった方を対象に2回目の追加接種を行います。

※接種を受けるには事前に予約が必要で、また、接種当日の体調により接種を受けられない場合がありますので、問い合わせください。

相談あらかると

◎社会保険の事務相談

- ▶月日 2月18日(水)
- ▶時間 10時30分～15時30分
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶問い合わせ 室蘭社会保険事務所 (☎247101)

◎無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題について、札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。相談を希望する方は、事前に申し込みください。

なお、裁判や調停中の問題は相談をお受けできません。

▶相談日・担当弁護士

- 2月7日(土) 高野弁護士
- 2月21日(土) 塩谷弁護士
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶時間 9時30分
- ▶定員 各日5名(申込順)
- ▶申し込み 市民課 (☎851855)

▼日時・場所

日 時	場 所
1月14日(水) 13:00～ 13:30	鷺別公民館
1月16日(金) 13:00～ 13:30	しんた21

▼対象 昭和50年から52年に生まれた方

▼料金 1千100円

※母子健康手帳をお持ちの方は、当日必ず持参ください。

▼申し込み・問い合わせ 1月9日(金)までに保健福祉課 (しんた21内☎850100)

不用品ダイヤル市

リサイクル推進室
☎852958

おわけします(売り)

2段ベッド、ベビーバイク、ベビーベビー乗用車、自転車2台(3～4歳用・22^{1/2})、食器乾燥機、煙突式石油ストーブ、親子電話、電気カーペット、ストーブガード、エレクトーン、スキー靴(24.5^{1/2})、夏タイヤ(195-55R14)

ゆずってください(買い)

チャイルドシート、バイオリン、三味線、ステレオ、洗濯機、冷蔵庫、ピアノ、トレーニングマシン

除雪作業にご協力をお願いします

～快適な冬を過ごすために～

今年も雪の季節がやって来ました。市は、安全で快適な冬道を確保するため、除雪作業を行っています。除雪作業をスムーズに進めるため、みなさんのご協力をお願いします。

行するときは十分注意してください。また、除雪車に子どもを近付けないうでください。

◎路上駐車・車の放置をしない

たった1台の路上駐車のため、除雪車が前に進めず作業が遅れたり、除雪できない場合があります。

◎道路に雪を捨てない

除雪車が通った後の雪を、再び道路に出すと、路面にわだちや凹凸ができやすくなり、ハンドルをとられたり、スリップするなど交通事故の原因となります。除雪後に玄関前や車庫前に置かれた雪の処理については、みなさんご協力をお願いします。

また、救急車や消防車など緊急自動車の通行の妨げにもなりますので、路上駐車や車の放置をしないでください。

除雪車には近付かない
作業中の除雪車に近付くことは大変危険です。除雪車の近くを通

問い合わせ

土木課 (☎8522200)

かると

登別市中小企業特別融資制度の融資利率が下がりました!

市内に事業所を有する方を対象とした、登別市中小企業特別融資制度の融資利率が平成9年12月17日から引き下げになりましたのでご利用ください。

融 資 名	利 率
一般事業資金	3年未満 年 1.75%
団体事業資金	
事業所開設資金	3年を超える 年 2.15%
小規模商工業資金	年 2.50%
近代化資金	年 1.75%
小口事業資金	

※詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ 市内の金融機関、商

工務政課(☎852171)、登別

商工会議所(☎4111)

所得税の還付申告は

1月から受付開始

年の途中で退職し年末調整を受けていない方や、多額の医療費(10万円)か所得の5%のいずれか少ない額を超える金額を支払った方、10年以上のローンを組んで新築や中古の住宅を取得し入居した方などが、所得税の還付申告をすると納めた税金が戻ることがあります。

還付申告の受け付けは1月から税務課市民税係(市役所6番窓口)で

行いますので、お早めに手続きしてください。

なお、確定申告の受け付けは、2

月16日(月)から行います。

※確定申告と市・道民税の申告については、2月1日号の広報のほりべつでお知らせします。

▼問い合わせ 税務課

(☎851155)

毎月「5」のつく日は しんた21の体力測定会

しんた21の体力測定会は、毎月5のつく日(5日、15日、25日)に行います。(5のつく日が土・日・休館日の場合は中止)

自分の体力を確認して、より効果的な健康づくりをしませんか。なお、測定中はトレーニングルームの一般利用はできません。

○2月の体力測定会(2回実施)

日 時	定 員	申込締切
2月5日(木) 18:30~ 20:30	18人 (申込順)	2月3日(火)
2月25日(木) 10:00~ 12:00	18人 (申込順)	2月24日(火)

▼参加料 500円

※参加者は半そでを着用ください。

▼申し込み、1月13日(火)以降、保健福祉課(しんた21内☎850100)



第27回 登別温泉湯まつりプログラム

2月3日(火) 節 分			
時間	行事名	会場	内 容
13:00 ~ 15:00	カルルス訪問	カルルス温泉	カルルス温泉の湯治客を訪問し、湯鬼神かぐらを披露します。
18:00 ~ 20:00	厄払い湯鬼神群舞	登別温泉街	大勢の鬼たちが町にくり出し、観光客や市民のみなさんの1年の厄払いを行います。
20:00 ~ 20:40	郷土芸能 湯鬼神かぐら 厄払い 豆まき 郷土芸能 子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	創作郷土芸能湯鬼神かぐらが披露され、年男による豆まきを行います。 子宝もちつき舞いでついたものはお客さまにプレゼントされます。
2月4日(水) 立 春			
時間	行事名	会場	内 容
12:00 ~ 15:00	温泉入浴ご招待		登別温泉旅館組合が市民1,000名を温泉入浴にご招待。
18:00 ~ 20:00	厄払い湯鬼神群舞	各旅館・ホテル	赤鬼・青鬼の湯鬼神が旅館、ホテルを回って厄払いを行います。
20:00 ~ 20:40	郷土芸能 湯鬼神かぐら 厄払い 豆まき 郷土芸能 子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	創作郷土芸能湯鬼神かぐらが披露され、年男による豆まきを行います。 子宝もちつき舞いでついたものはお客さまにプレゼントされます。
20:40 ~ 21:00	源泉湯かけ合戦 道祖神裸ねりこみ	まつり広場 (登別パライズ前)	厳寒の夜、裸の若者によって勇壮な湯かけ合戦がくり広げられます。

※都合により時間・催し物が一部変更する場合があります。

登別温泉入浴ご招待のお知らせ

登別温泉旅館組合は、市民のみなさんを温泉入浴に招待します。

▼日時 2月4日(水) 12時~15時

▼定員 1千人(市民の方に限り)

▼申込方法 往復はがきの往信の裏に代表者の住所・氏名・年齢・電話番号・入浴希望者(5人まで)の全員の氏名、返信の表に代表者の住所・氏名を明記し、1月20日(火)までに申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ 登別温泉旅館組合(〒069-05 登別温泉 町60番地 ☎33311)

▼申し込み・問い合わせ 登別温泉旅館組合(〒069-05 登別温泉 町60番地 ☎33311)

建設工事・物品などの 指名願いを受け付けます

市は、平成10年度の建設工事、設計、測量、物品などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を受け付けます。

▼受付期間 2月2日(月)～2月20日(金)（ただし、土・日・祝日は除きます）

▼受付時間 9時30分～12時、13時～16時

事業種別	受付場所	提出書類	問い合わせ
建設工事計 測量など	市役所3階 契約管財課 契約係	(社)北海道土木協会発行の市町村統一様式を使用してください (登別建設協会にて取り扱い)	契約管財課 (☎)1184
物品など	市役所2階 財政課 用度経理係	財政課用度経理係に備え付けの市指定様式を使用してください	財政課 (☎)1331

※なお、すでに平成10年度の資格を有している事業者は、平成10年1月以降に発行された事業者に課税されている全税目の納税証明書（納期到来分）を2月27日(金)までに提出してください。（提出が遅

れた場合は資格を失いますのでご注意ください）

女性のための健康診査

骨粗しょう症検査を受けてみませんか？

市は、日ごろ健康診査を受ける機会が少ない女性を対象に、骨粗しょう症と成人病予防のための健康診査を行います。

▼対象 18歳から39歳までの女性

▼内容 骨粗しょう症検査、血液検査（貧血・総コレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、尿検査（たん白・糖・潜血）など

▼料金 1千円

▼場所・日時・定員

健診場所	健診月日	時間	定員
市立室蘭総合病院	1月20日(火)	14時～	各日8人 (申込順)
	1月22日(木)		
	1月27日(火)		
	1月29日(木)		
	2月3日(火)		
登別厚生年金病院	1月23日(金)	10時～	各日8人 (申込順)
	1月27日(火)		
	1月28日(水)		
	1月29日(木)		
	1月30日(金)		

▼申し込み・問い合わせ 1月7日(水)から1月14日(水)までに保健福祉課（しんた21内 ☎0100）

成人式のご案内

おめでとう20歳～新たな門出を祝して～



日時 1月15日(木) 13時～(受付12時～)

場所 登別マリンパークニクス

▶対象 登別市に住民登録している昭和52年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた方（なお、他市町村に住民票を移している方でも、連絡をいただければ案内状を送付します）
※対象者には案内状を送付しますが、1月8日(木)までに届かない場合は問い合わせください。

問い合わせ 社会教育課(☎)1100

第28回

小中学生

書き初め展

作品募集

登別書道連盟 文化・スポーツ振興財団共催

▼対象 市内に居住する小・中学生（幼児も可）

▼作品 1人1点、字句は自由、大きさは小画仙紙2分の1（67・5センチ×35センチ）で縦書き（作品の裏左下に住所・氏名・学校名・学年を記入してください）

▼参加料 500円（受付時に持参ください）

▼受付月日 1月25日(日)

▼受付時間 9時30分～10時

▼受付場所 市民会館老人体養生室

▼作品展示 2月7日(土)・8日(日)

アーニス1階ホール

▼問い合わせ 成田さん (☎)2067

かると

一般家庭看護法（短期）講習会を開催します

日本赤十字社登別市地区は、専門の講師を招き、病人が出たときの介護の知識と技術を、実習を通じわかりやすく指導します。

一日だけの短期講習ですので、お気軽に参加ください。

▼日時 2月23日(月) 10時～15時

▼場所 しんた21

▼定員 30人程度

▼受講料 無料

▼申し込み・問い合わせ 1月29日(木)までに日本赤十字社登別市地区事務局

(社会福祉課内 ☎1911)

冬道安全運転技能講習会 ～冬道運転の基本を再チェック～

▼日時

1月30日(金)	1月31日(土)
8:30～9:30	8:30～9:30
9:00～10:00	9:00～10:00
9:30～10:30	9:30～10:30
10:00～11:00	10:00～11:00
10:30～11:30	10:30～11:30
19:00～20:00	13:00～14:00
19:30～20:30	13:30～14:30
20:00～21:00	14:00～15:00

▼場所 登別自動車学校

▼内容 スタッドレスタイヤ安全運転技術用ビデオ視聴、運転体験(凍結路、わだち、登り坂)

納められましたか

今月は、市道民税(第4期)と国民健康保険税(第7期)の納期です。忘れずに納めましょう。

市税の納入には、便利な口座振替もありますのでご利用ください。

▼納入についての問い合わせ

税務課(☎1155)

保険年金課(☎1771)

農業委員会委員選挙人名簿の登録申請をしましょう

平成10年1月1日現在、登別市に住所があり、平成10年3月31日現在で20歳以上の方で次の①②③に該当する方は、農業委員会委員選挙人名簿への登録申請をしてください。

①面積30アール(3反歩)以上の農地

②前記①の方と同居している親族、またはその配偶者で年間60日以上農業に従事している方

③面積30アール以上の農地で耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員で、年間、原則150日以上農業に従事している方

▼申請方法 所定の様式に必要事項を記入し、1月10日(土)までに持参または郵送ください

▼申請・問い合わせ 農業委員会事務局(市役所内 ☎9190)

健康相談・診査

◎健康相談

月	日	受付時間	場 所
2月	2日(月)	10:00～	鷺別公民館
2月	3日(火)	10:00～	婦人センター
2月	4日(水)	10:00～	しんた21
2月	10日(火)		
2月	17日(火)		
2月	25日(水)		

▼対象 満40歳以上の方(現在通院中の方は除きます)

▼内容 血圧、糖尿、高脂血症など健康、栄養士による相談

▼申し込み 1月28日(木)までに電話で申し込みください

※相談時間は申し込みの際にお知らせします

◎7カ月～8カ月児健康相談

クラス	対 象	受付時間
ひよこくら	平成9年6月第2お誕生日以降のお子さん	10:00 10:30
	平成9年6月第1お誕生日のお子さん	12:45 13:00

▼場所 しんた21

▼内容 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介

保健福祉課

(しんた21内 ☎00100)

▼持参するもの 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

◎乳幼児健康相談

▼月日 2月18日(水)

▼受付時間 10時30分～11時

▼場所 しんた21

▼対象 育児相談を希望される方

▼内容 発育発達相談、栄養相談、育児相談

▼申し込み 事前に電話で申し込みください

◎3カ月児～4カ月児健康診査

▼月日 2月26日(木)

▼受付時間 12時30分～13時

▼場所 しんた21

▼対象 平成9年10月生まれのお子さん

▼内容 診察、身体計測、栄養相談、育児相談

▼持参するもの 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

◎1歳6カ月児健康診査

▼月日・対象

○2月5日(木) 平成8年7月1日から平成8年7月20日までに生まれたお子さん

○2月19日(木) 平成8年7月21日から平成8年8月15日までに生まれたお子さん

▼受付時間 12時30分～13時

▼場所 しんた21

▼内容 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、育児相談、発達相談、歯みがき相談、フッ素塗布の予約

▼持参するもの 母子健康手帳、現在使用中の歯ブラシ

◎3歳児健康診査

▼月日 2月12日(木)

▼受付時間 12時30分～13時

▼場所 しんた21

▼対象 平成7年1月生まれのお子さん

▼内容 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、発達相談

▼持参するもの 母子健康手帳

防災研修会を開きます

1月15日から21日は
「防災とボランティア週間」

市は、登別市防災会議の構成機関であるNTT室蘭支店から講師を招き、防災研修会を開きます。

内容は、ビデオの上映と阪神・淡路大震災でのNTTの活動を通して得た教訓など、災害発生時に必要な情報や心得などについての講演です。防災の基本心得は「自分の生命は自分で守ろう」です。この機会に災害や防災についての知識を深め、災害に備えましょう。

▼日時 1月19日(月) 15時～

▼場所 市民会館2階中ホール

▼内容 ビデオ上映、講演「危機管理と災害対策の取り組み」(講師 NTT室蘭支店設備部長栗宇弘さん)

▼入場料 無料

▼問い合わせ 総務課

(☎1130)

登別地方高等職業訓練校からのお知らせ

◎陶芸教室を開催します

▼月日 1月24日(土)、25日(日)、2月28日(土) (計3日間)

▼時間 9時～12時

▼場所 登別地方高等職業訓練校 (2月28日(土)は健千室)

▼内容

○1コース 手びねり(茶碗、くいのみ、どんぶりなど)

○2コース 板作り(コーヒーカップ、皿など)

○3コース ひも作り(ふくろうの置物など)

▼定員 各コース15人(申込順)

▼受講料 2千600円

▼申し込み・問い合わせ 1月5日(月)から登別地方高等職業訓練校 (青葉町42 ☎1450)

◎平成10年度登別地方高等職業訓練校訓練生募集

登別地方高等職業訓練校は平成10年度の訓練生を募集します。

訓練科目	訓練期間	訓練時間	募集人員	対象
木造建築科	2年間	昼間訓練	各科10人	中学卒業と同等程度の学力を有する方
板金科				
建築塗装科				
建築設計科	2年間	夜間訓練	各科10人	高校卒業と同等程度の学力を有する方
OAシステム科				
経理事務科	1年間			

▼申し込み・問い合わせ 登別地方高等職業訓練校 (☎1450)



ケント・ギルバート

月日 2月5日(木)
時間 開場18時
開演18時30分
場所 市民会館大ホール
演題 『面白大国ニッポン
～日米文化比較論～』

三市合同文化講演会

市は、室蘭市・伊達市と合同で、テレビなどでおなじみのケント・ギルバートさん(カリフォルニア州弁護士)を講師に招き、文化講演会を開催します。

- ▶入場料 無料(整理券が必要です)
- ▶整理券配付先 市民会館、市役所内母子会売店、登別支所、登別支所、登別観光協会
- ▶問い合わせ 社会教育課 (☎1100)

映画『どんぐりの家』上映会

聴覚障害に加え、知的障害や精神障害をあわせもつ子どもたちの成長を願い、苦しみながらも歩いていく家族とそれを支える人々のひたむきな姿。現代社会の人間の生き方、子育てや教育のあり方を見つめ直し、福祉の原点を問いかけるアニメーションです。

- ▶月日 2月1日(日)
- ▶時間 11時～12時50分、14時30分～16時20分
- ▶場所 市民会館大ホール
- ▶入場料 <前売券> 大人1,000円、高校生以下500円
<当日券> 大人1,200円、高校生以下700円

- ▶前売券取扱先 ブックメイトまるぜん登別美園店、社会福祉協議会(しんた21内)、市役所内母子会売店、市民会館、権兵衛窯陶芸教室(中央町)、セブンイレブン登別東町店、セイコーマートなりた(登別東町)、登別観光協会
- ▶問い合わせ 宇都宮さん (☎4976)





このまちが 好き

男たちの豪快な冬祭り

豊かな温泉の恵みと効能に感謝し、開運と無病息災を祈る登別ならではの冬祭り「第27回登別温泉湯まつり」が行われます。

この祭りでは、年に一度の節分に合わせ、閻魔大王の使者である赤鬼、青鬼の「湯鬼神」が温泉街を回って厄払いを行います。みなさんの「厄」を一身に集めます。

また、祭りの最終日には若衆たちの勇壮な「源泉湯かけ合戦」が行われます。

◎第27回登別温泉湯まつり

▼月日 2月3日(火)、4日(水)（詳細は16ページの「情報あらかると」をご覧ください）

▼場所 登別温泉、カルルス温泉

▼問い合わせ 登別観光協会

(☎01433311)

となりまち

ホットライン

室蘭市

だんバラ公園スケートリンクで冬を楽しもう！

室蘭岳山麓総合公園（だんバラ公園）のスケートリンクがオープンします。スケートを楽しみながら、風邪にも負けない体力作りをしませんか。

▼期間 1月7日(水)～2月25日(水)

▼時間 10時～16時

※リンクコンディションおよびオープン日などの確認は問い合わせください。

▼問い合わせ 公園管理事務所 (☎0148665)

伊達市

だて市観光物産館へみなさんでお越しください

国道37号沿いにある、だて市観光物産館は、豊富な海の幸、山の幸に恵まれたグルメの里としても人気のある伊達市自慢の特産品を、数多く取りそろえています。

なかでも、伊達産のさらさら酛で造り上げた本醸造酒地酒・伊達家紋 や キンキのいすし、たこしやぶなども贈り物として人気があります。また、独特の深みのある藍で染めたハンカチ、テーブルクロス、小物類も展示していますので、伊達にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

▼営業時間 10時～17時30分（月曜日休館）

▼場所 伊達市梅本町57番地1

▼問い合わせ だて市観光物産館

(☎0142265722)

